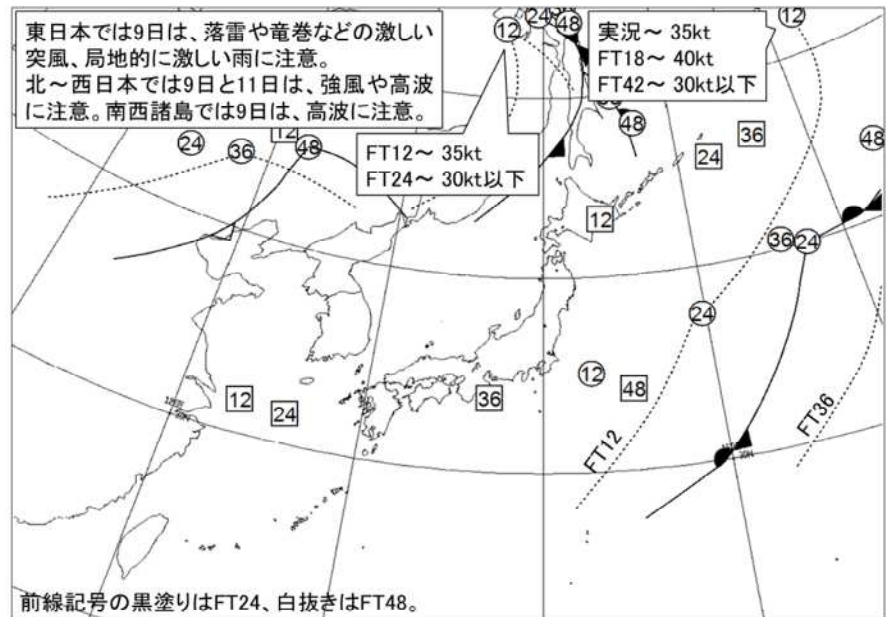


### 1. 実況上の着目点

- ① 日本海～西日本付近には500hPa-21℃以下の寒気を伴った5520～5760mのトラフがあって南東進。8日21時の鹿児島の高層観測では、500hPa-19.5℃を観測。四国の南を中心に、雷を多数検知し、局地的に激しい雨を解析。
- ② ①項のトラフに対応し、日本の東で低気圧が8日21時に発生し、東進。
- ③ 500hPa5400m付近のトラフに対応する前線を伴った低気圧がシベリア付近にあって、東進。



主要じょう乱解説図

- ④ カムチャツカの東の低気圧や低気圧から日本の東へのびる前線と東シナ海に中心を持つ大陸の高気圧との間で気圧の傾きが大きくなっており、北～西日本では、風がやや強く吹き、波が高くなっている所がある。

### 2. 主要じょう乱の予想根拠と解説上の留意点

- ① 1項①のトラフは、9日夜には日本の東へ進む。トラフに対応する1項②の低気圧は日本の東を北東へ進む。東日本には500hPa-21℃以下の寒気が流入し、大気の状態が非常に不安定となる所がある。東日本では9日は、落雷、竜巻などの激しい突風、局地的に激しい雨に注意。
- ② 1項③の前線を伴った低気圧は9日夜にはサハリン付近へ進む。この低気圧や前線および日本の東の低気圧と、東シナ海に中心を持つ高気圧との間で気圧の傾きが大きくなり、北～西日本では9日は風が強く吹き、波が高くなる所がある。西～東日本の日本海側では吹送距離の長い北東風によるうねりの影響を受ける。また、南西諸島でも9日は、風がやや強く吹き、波が高くなる所がある。北～西日本では9日は、強風やうねりを伴った高波に、南西諸島では9日は、高波に注意。
- ③ 11日は500hPa5400m以下の寒冷渦に対応する低気圧が中国東北区を東進、前線が日本海を南下する。この前線や低気圧と、日本の東から日本のはるか東へ中心を移す高気圧との間で気圧の傾きが大きくなり、風が強く吹き、波が高くなる所がある。北～西日本では11日は、強風や高波に注意。
- ④ 10～11日は高気圧に覆われて全国的に晴れる。10日朝は、北日本～西日本の山沿いを中心に、放射冷却による晩霜に注意。

### 3. 数値予報資料解釈上の留意点

総観場はGSM基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

- ### 4. 防災関連事項 [量的予報と根拠]
- ①大雨ポテンシャル(06時からの24時間)：高い所(100mm以上)はない。
  - ②波浪(明日まで)：近畿・中国・九州北部3m。
  - ③高潮(明日まで)：大潮の時期。西日本では、注意報基準を超過する所がある。

### 5. 全般気象情報発表の有無

発表の予定はない。